

中期経営計画「リ・バイタライズ2020」の基本方針を継承しつつ、事業環境の変化に対応する施策を新たに加え、取り組んでまいります。



代表取締役会長
寺島 憲造

代表取締役社長
渡部 朗

ステークホルダーの皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族および関係者の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患された方々の一日も早い回復をお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染症は当社のお客様である交通事業者や自動車産業、装置産業を含め、日本の産業界全体に大きな影響をもたらしています。一日も早く感染症の流行が終息し、再び経済活動が活発化することを祈念いたします。当社においても、在宅勤務や時差出勤の実施など、従業員の安全、健康を第一に考えながら、生産への支障を可能な限り抑えつつ、感染拡大防止に寄与する取り組みを継続してまいります。

さて、2020年5月期は、期の後半より、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、外出自粛に伴う国内での営業活動への制約や、海外への渡航制限などがあり

ましたが、当社の生産活動には大きな支障はなく、2020年5月期の業績は当初計画を上回る水準で増益を達成することができました。これは、創業100周年を契機として実施した産業事業における生産拠点の滋賀竜王への統合や、交通事業における生産性改善、情報機器事業における新製品開発などが功を奏したものです。

しかし、2021年5月期においては、新型コロナウイルス感染症による世界的な経済状況の悪化により、多くのお客様が設備投資に慎重になられています。こうした中、当社の2021年5月期の業績予想は、前期末時点の受注残高が比較的多い交通事業については一定の予測が可能なものの、産業事業については今後の動向を判断するには今しばらく時間が必要と考えております。業績予想の算定が可能となりましたら、速やかに皆様方にお伝えいたします。

一方、事業の運営方針としましては、中期経営計画の見直しを行い、現行の「リ・バイタライズ2020」に

おける基本方針を継承しつつ、今般明らかになりつつある事業環境の変化に対応する施策を新たに加え、取り組んでまいります。特に、近年推進しているグローバル化に対しては、中国において産業用永久磁石同期モータの製造を担う中稀東洋永磁電機有限公司の本格稼働および北京における地下鉄車両メンテナンス事業の拡大を大きな柱として取り組んでまいります。

なお、第159回定時株主総会とその後取締役会を経て、代表取締役会長に寺島憲造、代表取締役社長に渡部朗が就任し、また、さらなるガバナンス強化を目的として新たに水元公二氏が社外取締役に就任いたしました。

ステークホルダーの皆様におかれましては、新しい経営体制となった当社のさらなる発展にご期待いただき、今後とも引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の業績について

当期2020年5月期につきましては、受注高は産業事業における前期の大型案件の反動減や、新型コロナウイルス感染症拡大による受注活動の停滞などにより385億円となりました。売上高は交通事業における前期受注減の影響により390億円となりました。営業利益は採算性の改善により10.6億円となり3期ぶりに10億円超を達成しました。経常利益は営業利益の増加により12.0億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は一部の政策保有株式の圧縮に努めた結果10.8億円となりました。なお、海外売上高比率は主に海外子会社における売上高の減少により20.7%となりました。

事業別では、交通事業は、受注高は国内向けと中国以外の海外向けが減少したことから、前期を下回りました。売上高は国内向けが減少したことから減収となりました。セグメント利益は原価管理の強化、経費の抑制に努めたことから、前期並みとなりました。

産業事業は、受注高は前期の大型案件の反動減や、新型コロナウイルス感染症拡大による受注活動の停

滞などがあり、前期を下回りました。売上高は試験機向け、電源向けが増加したことから増収となりました。セグメント利益は、原価管理、工程管理の強化などにより増益となりました。

情報機器事業は、受注高は期の後半に主だった案件がなかったことにより前期を下回りました。売上高とセグメント利益は、消費税率改定や春のダイヤ改正に伴うソフトウェア改修案件等により増収増益となりました。

なお、今期2021年5月期の配当予想については、未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想についても速やかに公表いたします。

▶ 新社長経歴

氏名

渡部 朗(わたなべ あきら)

出身地

東京都

生年月日

1959年11月22日生

学歴

1982年3月 東北大学工学部電気工学科 卒業

職歴

1982年4月 東洋電機製造株式会社 入社
2013年8月 事業開発部長
2015年8月 執行役員 経営企画部長
2016年8月 取締役 交通事業部長
2018年6月 取締役常務執行役員
交通事業部長兼同事業部海外営業部長
2018年8月 取締役常務執行役員 交通事業部長
2019年8月 取締役専務執行役員
交通事業部長兼横浜製作所長
2020年8月 代表取締役社長に就任

印象に残っている仕事

- ・磁気浮上式鉄道(HSST)用推進システムの開発・設計担当(1980年代後半)
- ・ハイブリッド建機用電動コンポーネントの開発・量産立ち上げ(2010年代前半)

座右の銘

「慎重」かつ「楽観的」に

趣味

音楽鑑賞・演奏、オートバイ